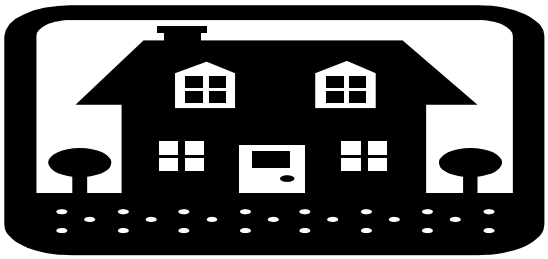
長洞元気村ニュース

平成２３年５月２１日
復興　第　２　号

“結い”
みんなでやりゃすぺ！

国（みんな）があなたのために何をしてくれるかを問うのではない。国（みんな）のためにあなたに何ができるのかを問うてほしい。長洞元気学校の開校式に子供たちに贈った言葉です。アメリカのケネディ大統領の有名な演説から引用したものです。長洞元気村の基本理念として開村に望みたいと思っています。応急仮設住宅に長洞元気村という名前をつけたのは仮設市街地研究会の方々です。元気学校に訪れたときに濱田代表はじめ研究会の方々が掲示されたこの理念に感心しながらカメラに納めていたことを覚えています。“結い”とか“結い取り”“よいとり”などといいますが、長洞地区の結びつきを大事にしながら、“みんなでやりゃすぺ”ということです。仲良く楽しくやりたいですね。



召し上げられたせいじの臍繰り

被災した数日後、隠しておいた臍繰り２０万円を発見、災害対策本部へ持って行き「使ってください。」と言って会長に渡しました。預金の払い戻しもできない状況でしたし米の蓄えを調査した直後です。緊急の買い出しなどに活用していただきたいとの思いからそうしましたが、帰ってくるとは思っていませんでした。ところが、４月末に会長より返却するということで、確かに２０万円受け取りました。どうしようかと思う間もなく妻にばれて全て召し上げられてしまいました。へそくりやーい。どんとはれ

長洞元気村産直土曜市

これは皆さんと相談しなければならないことですが、仮設住宅が完成した暁には、集会所を主会場に、地元でとれた野菜や魚介類を販売するコーナーを設けたいと思っています。夏野菜の準備や刺し網・かご漁など準備をすすめ多くの品目が出品できるようご協力をお願いいたします。また、余分な救援物資や贈答品などの出品も大歓迎としたいのでお知恵をお貸しください。よろしくお願いいたします。

三陸わかめ生産始動（養殖業始動）

壊滅となったわかめ養殖、養殖していた組合員が来年の生産に向けて動き出しました。個人経営ではなく協業の形での再会を目指しているとのことでした。海の瓦礫の片づけを進めながらメカブ採取・種付け・秋の種巻（たねまき）と進めるそうです。浜の活気が長洞の活気と思うと、地区民としてもうれしい情報です。船の修理や購入についての情報もほしいですね。ウニ漁・アワビ漁、長洞漁港の開港を目指してもうひと踏ん張りですね。（広田湾漁協組合員のつぶやき）